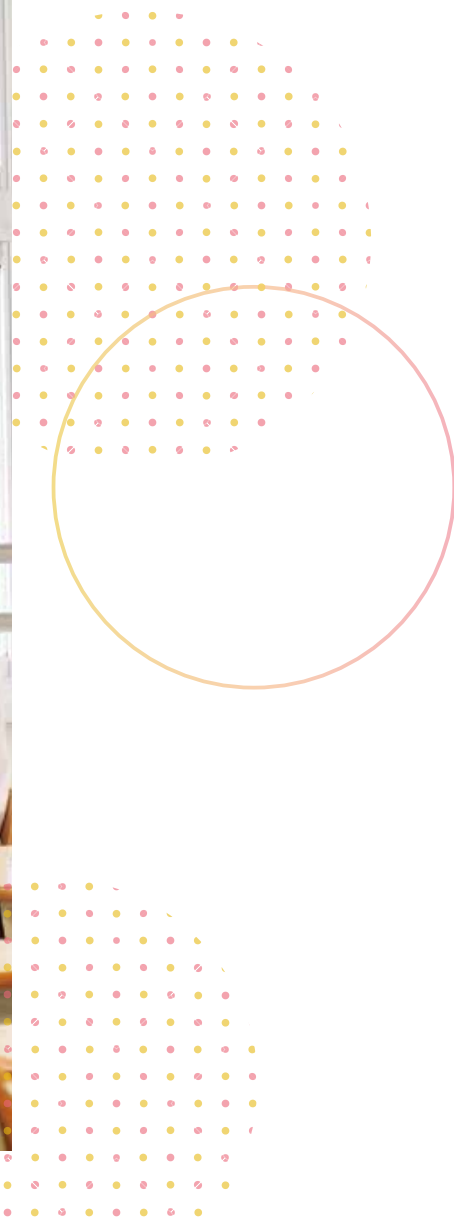




東京都立 桜修館中等教育学校

令和7年度 学校案内





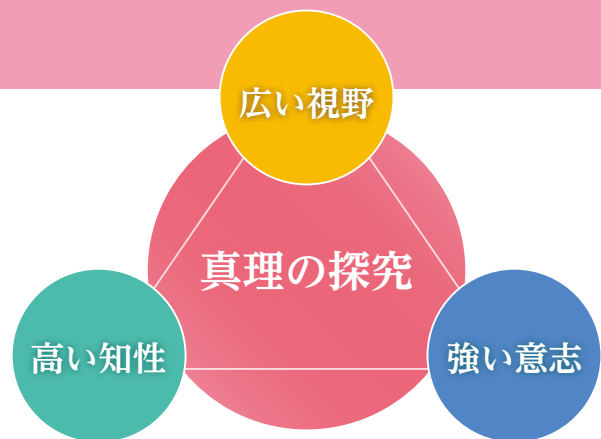
真理の探究

スクール・ミッション

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

グラデュエーション・ポリシー

- ①**高い知性**：確かな学力を身に付け、論理的に考えて課題を解決する力や自主的な表現力を身に付ける。
- ②**広い視野**：生命を大切にし、他者を思いやる心や人権を尊重する態度と国際社会に貢献しようとする態度を身に付ける。
- ③**強い意志**：困難な課題に対して、勇敢に立ち向かって根気よく解決する精神力と体力を有し、責任をもって行動する姿勢を身に付ける。



■ 校長あいさつ

校長 石崎規生



本校は、旧制府立高等学校、東京都立大学附属高等学校の歴史を受け継ぎ、平成18（2006）年に新たな中高一貫校として開校しました。「桜修館」の校名は、戦前から引き継いだ校歌の中の「崇高き姿の不二の峰 国の誇りの桜花」から名付けられています。

最寄りの都立大学駅から柿の木坂を上り、旧都立大学跡地のめぐる区民キャンパスに入ると、青々とした木々が私たちを出迎えてくれます。キャンパス内のパーシモンホールはクラシックの演奏会が行われるコンサートホールで、本校の合唱コンクールもここで行われます。敷地内の八雲中央図書館では、放課後に勉強する生徒の姿が見られます。美しい木々の緑に囲まれた環境の中で、生徒たちは充実した毎日を過ごしています。

本校は「真理の探究」を校訓とし、6年間の一貫した教育活動で、高い知性、広い視野、強い意志の3つを育み、「世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する」ことを教育方針としています。

全員が参加する台湾修学旅行をはじめ、希望者を対象とし、およそ2週間のホームステイを行うオーストラリア海外語学研修、アメリカの大学で学生との交流や大学の授業等に参加するリーダーシップ育成アメリカ研修といった、広く国際社会に目を向ける機会を予定しています。さらに、4・5年生で週2時間学ぶことができる、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハングルといった第二外国語を設置しているのも本校ならではの特色です。

また、生涯にわたって主体的に探究的な学びを行うための基盤として、論理的な思考力や表現力を育成することを柱の一つとし、「国語で論理を学ぶ」、「数学で論理を学ぶ」と呼ぶ本校独自の教科を設置しています。さらに5年生では、探究的な学びの集大成として、研究論文を作成します。

これからの時代では、学校で学んだことや、すでに身に付けた能力よりも、新たな知識や能力を自ら獲得し、それを活用する力が求められます。そして、多くの仕事がAIにとって代わられるといわれる将来の社会に向けて、「学び方」を学び、生涯にわたって自分自身をバージョンアップさせていく力を身に付けることを目指します。

学校行事では、クラスマッチ（体育祭）、記念祭（文化祭）、合唱コンクールの3大行事を生徒自身で運営し、充実した思い出に残る行事を作り上げています。部活動では、全国大会に出場する弓道部をはじめ、どの部活動でも熱心に取り組む姿が見られます。

中等教育学校である本校の最大の特徴の一つは、6年間を同じ仲間で過ごすことにあります。時には思うようにいかないことがあっても、お互いに優しさや思いやりの心を大切に、助け合い励まし合いながら6年間で共に過ごした仲間は、生涯の友人として皆さんのかけがえのない宝物となることでしょう。

皆さんも桜修館中等教育学校で充実した6年間を送り、一生の宝物を見つけてみませんか。

沿革

- 1929年2月 府立高等学校（尋常科4年、高等科3年の7年制）として、東京市麹町区永田町にて設立
- 1932年4月 東京府荏原郡碑衾町（現在地）に移転
- 1943年7月 東京都制の実施に伴い、都立高等学校と改称
- 1948年4月 新学制により、東京都立新制高等学校に改組
- 1949年4月 男女共学制実施
- 1949年12月 東京都立大学附属高等学校と改称
- 2006年4月 東京都立桜修館中等教育学校、開校
（東京都立大学附属高等学校は2011年3月をもって閉校）
※校章、校旗、校歌は府立高等学校以来のものを使用しています

高い知性

論理を学ぶ



前期課程では独自の教科「国語で論理を学ぶ」「数学で論理を学ぶ」で、論理的な思考力・表現力を養います。

国語で

論理を学ぶ

国語で論理を学ぶ（以下「国論」）では、「話す」「聞く」「読む」「書く」という国語の4領域において、論理的に考えたり、分かりやすく相手に伝えたりする力を身に付けます。1年生では情報の集め方を学び、根拠を示して説明することができる力を付け、2年生では思考の視覚化やメディアの比較などを行います。3年生では具体と抽象の関係に注意して読解したり、文章を書いたりする方法を学び、説得力のある小論文を書くことを目指します。

数学で

論理を学ぶ

数学で論理を学ぶ（以下「数論」）は、真理の探究のための大切な基礎となります。数量、図形等を題材にして、論理的に考察し解決できる能力を身に付けます。深く思考し、法則や規則性を他者と協力して見つけ、相手に分かるように論理的な説明をすることを、個人やグループで行います。3年生では和算を学び、算額の問題を作り、算額コンテストに応募します。統計分野についても学び、データを根拠に説明し、表現する力を身に付けます。



	1 年生	2 年生	3 年生
国語で論理を学ぶ	情報の扱い方 基礎的な文章の書き方	思考の視覚化 具体と抽象	情報の信頼性 グラフを用いた文章作成
数学で論理を学ぶ	身近な情報の分析 数学的探究	身近な題材を用いた確率の求め方 数学的探究	統計の手法を用いたデータの分析 算額を作ろうコンクール

桜修館の

学び

6年間の一貫した教育を通して、幅広い教養と発展的な学習内容を扱い、高い知性の定着を図ります。

■ 少人数・習熟度別授業

英語（2・3年生）で少人数授業、英語と数学（4・5年生）で習熟度別授業を実施しています。それぞれの生徒の学習進度に合わせ、きめ細かい指導を行っています。

■ 選択授業

5年生以降では希望の進路に応じて必要な科目を選択します。国公立大学受験に対応した授業を行っています。

■ 土曜授業

年間20回程度の土曜授業を実施し、授業での学びを大切にしています。前期課程では幅広くバランスのとれた学力を身に付け、後期課程では全科目を重視して広く教養を身に付けさせるとともに、進路実現に向けた確かな学力の向上を目指しています。

■ 講習

校内で例年60講座程度の夏期講習を実施しています。それぞれの学習進度や進路希望に応じて、本校教員が実施する多彩な講座から生徒が自由選択します。

■ チューター

卒業生がチューターとして月曜日～金曜日の夕方と、授業のある土曜日の午後に来校しています。勉強の質問や進路相談ができる環境を整え、自学自習を支援しています。

■ 第二外国語

フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、ハンガルの講座を設置しており、4・5年生の希望者が選択できます。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を養うとともに、言語だけでなくその言語圏の文化に対する理解を深めます。

教育課程表（令和7年度入学生）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	自由選択科目
							第二外国語
1				現代の国語(2)	論理国語(2)	論理国語(2)	フランス語(2)
2	国語140(4)	国語140(4)	国語140(4)	言語文化(2)	古典探究(3)	政治・経済(2)	ドイツ語(2)
3						体 育(2)	スペイン語(2)
4				地理総合(2)	倫 理(2)		中国語(2)
5	国論Ⅰ35(1)	国論Ⅱ35(1)	国論Ⅲ35(1)	歴史総合(1)注6	数学Ⅱ(1)	英語コミュニケーションⅢ(4)	ハンガルの(2)
6	社 会105(3)	社 会105(3)	社 会140(4)	公共(1)注6	数学Ⅱ(1)		
7				数学Ⅰ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
8				数学Ⅱ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
9	数 学140(4)	数 学140(4)	数 学140(4)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
10				数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
11	数論Ⅰ35(1)	数論Ⅱ35(1)	数論Ⅲ35(1)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
12				数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)	数学Ⅲ・数学演習Ⅰ(2)		
13	理 科140(4)	理 科140(4)	理 科140(4)	物理基礎(2)	日本史探究世界史探究(4)*	古典探究演習(3)	
14				化学基礎(1)注6	化 学(3)	世界史探究演習A日本史探究演習A地理探究(2)*	
15	保健体育105(3)	保健体育105(3)	保健体育105(3)	生物基礎(2)	地理探究地学基礎(2)*	数学Ⅲ演習(5)	
16				情報Ⅰ(2)	生 物 理(3)*	数学Ⅲ演習Ⅱ(5)	
17	音楽45(1.3)	音楽35(1)	音楽35(1)	体 育(2)	体育(3)	物理演習生物演習(3)*	
18	美術45(1.3)	美術35(1)	美術35(1)	保健(1)	保健(1)	文系数学発展演習(4)英語演習(2)現代文演習(2)化学演習(4)*	
19	技術・家庭70(2)	技術・家庭70(2)	技術・家庭35(1)	芸術Ⅰ(音楽書)(2)*	英語コミュニケーションⅡ(4)	自由選択科目文系(0～6)理系(0～6)**	
20				英語コミュニケーションⅠ(3)	論理・表現Ⅱ(2)		
21	英 語140(4)	英 語140(4)	英 語175(5)	論理・表現Ⅰ(2)	家庭基礎(2)		
22				総合探究(1)	総合探究(1)		
23	道徳35(1)	道徳35(1)	道徳35(1)	LHR(1)	LHR(1)		
24	総合50(1.4)	総合70(2)	総合70(2)	第二外国語(2)	第二外国語(2)		
25	学活35(1)	学活35(1)	学活35(1)				
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
	1120時間(32)	1120時間(32)	1155時間(33)	33～35単位	33～35単位	26～32単位	

生徒の声

数論や国論といった論理の授業だけでなく、様々な教科で「論理的に考えること」「文章を書くこと」「話し合いをすること」が求められます。それらの活動を通じて、実践的な論理的思考力や表現力が身に付けられていると思います。

桜修館では、文理を問わず満遍なく様々な教科を学ぶことができます。私は文系ですが、しっかりと理科や数学も学び、幅広く基本的な教養を身に付けることができ、進路選択においても、それがとても役立ちました。

教科の特色

英語

4技能をバランスよく伸ばし、世界に通用する英語力の向上を目指します



桜修館の英語の授業では、少人数クラス（2～5年）で、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばします。6年間一貫して多くの英文を読む、聴くというインプット活動を土台に、前期課程ではスキット、劇、スピーチ、作文などのアウトプット活動を行い、英語で思考・発信する力を養います。SDG sのような社会問題を取りあげ、ミニディベートなども行います。後期課程では、前期課程での学習をふまえ、作文、スピーチ、プレゼンテーション、ディベートなどを行い、より高度で複雑な内容を英語で理解・表現する能力を養います。同時に様々な題材の英文を正確に読む力を身につけます。3年修了時にはCEFRレベルA2（英検準2～2級程度）、6年卒業時にはCEFRレベルB2（英検準1級程度）の力を身につけています。またネイティブの先生3名が常駐しています。6年間を通してネイティブの先生との授業が豊富にあり、気軽に質問ができる環境もあります。

国語

論理的な思考力と表現力を育成します



自ら課題を発見し、論理的に解決し、適切に表現できる力を育むため、中高一貫の1,2年生を「基礎・探究期」とし、ノートの取り方や辞書の引き方や言葉の使い方、文章の読み取り方や自分の考えを適切に表現することを学びます。そして3,4,5年生を「応用・充実期」とし、様々なテーマの文章を探究的に読解することで論理的思考力や表現力を学びます。6年生は「総合・発展期」とし、より発展的な文章を読むことで実践的な読解力を身に付けます。毎月の読書課題による継続的な読書習慣の定着、新聞スクラップを活用した学習を通じて、不確実な社会を生き抜くために必要な教養や幅広い視野を身に付けます。6年間積み重ねた本校での国語の学習を通して、生涯にわたって必要な言葉の力を身に付け、自分の力で真理の探究が出来る生徒を育てます。

数学

問題を解くだけでなく、数学の楽しさを体得します

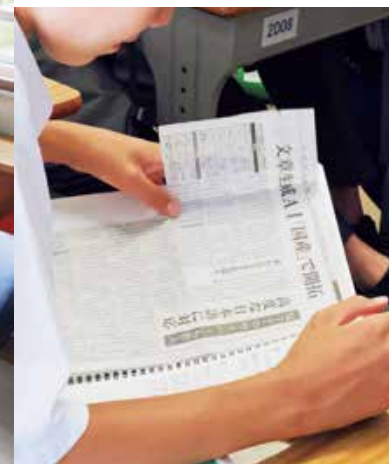


6年間を通じて、数的類推力と論理的思考力を育成します。前期課程では、1年生から3年生で、「数学で論理を学ぶ」の授業を行います。論理的な論文を書く上で、統計的な手法を正しく活用できる能力を育てます。また、週4時間の授業を「代数」と「幾何」の2種類に分けて実施します。代数では数式や関数を、幾何では図形を中心に扱います。後期課程では、個々の希望や実力に応じた教育を行うために、習熟度別学習を実施しています。また、5年生では文系・理系などの進路に応じて学習内容を選択します。学習指導要領の内容を5年生までにほぼ終え、6年生は演習を中心に行います。分からないところは根気強く反復していくうちに、問題を解くだけでなく数学の世界を味わい、学ぶ楽しさを体得していきます。

真理の探究

探究学習

多彩な授業、国語で論理を学ぶ、数学で論理を学ぶ、国際理解教育等を通じて興味関心の幅を広げ、探究学習へ進みます。「真理の探究」を校訓としている本校では、1年生より論文作成に取り組みます。



1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
基本的な論文の書き方を学ぶ 調査内容や体験を分かりやすくまとめた視覚資料（ポスターやレポート）を作成する	根拠をもとに自分の意見をまとめる 根拠を明示した視覚資料（ポスターやレポート）を作成する	自分の調査や考えを文章にする 設定したテーマに基づく調査をまとめた論文形式の文章を作成する	研究論文テーマの決定 課題設定（リサーチクエスト）をし、考察、検証する	研究論文作成 リサーチクエストに基づいた仮説設定、調査、検証、考察を備えた5,000字程度の論文を作成する	研究論文英文要旨作成 8行程度の英文の論文要旨を作成する
国論数論でも、論理的な考え方・まとめ方・伝え方を学びます					

4年生では大学の先生や探究アドバイザーの方の指導を受けながら自分の興味関心に基づき、リサーチクエストを設定します。5年生では1人の教員に4名ほどの生徒がつき、個別指導やグループ協議などを行いながら探究を深め、1年間をかけて5,000字程度の論文を作成します。論文作成を通じた探究的な学びが、桜修館での集大成となるだけでなく、卒業後のさらなる学びの深まりにつながる生徒も多くいます。

論文最優秀賞タイトル

令和5年度

文系 SNSにおける読点の使用傾向について
理系 虹が観測できる場所を予測する手法の提案

令和4年度

文系 大都市圏における公立中学校の統廃合とその影響について～目黒区立大鳥中学校を事例に～
理系 空気抵抗及び動摩擦力の測定と数値解析的手法による考察



広い視野 国際理解

6年間を通して、海外語学研修、海外修学旅行、海外大学研修などの国際理解教育に取り組み、国際社会を担う人材を育てます。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
異文化理解	Tokyo Global Gateway	ブリティッシュヒルズ			台湾修学旅行	
			学校交流（訪問受け入れ等）			
		オーストラリア海外語学研修				
リーダー育成	グローバルスタープログラム					
			海外大学リーダー育成アメリカ研修			

台湾修学旅行 ・相互交流

多民族が共生する台湾において、人々との触れ合いや現地での体験をとおり、異文化理解を深め、広い視野をもって国際社会へ貢献する意欲を高めます。また、現地の高校を訪問し、同年代の生徒と交流を行うとともに、継続的な相互の学校交流をはかり、本校への訪問受け入れも行っています。



タピオカミルクティーを作ったり伝統的な衣装を着たりと日本ではできないような活動を体験し、現地の高校生との交流を深めることができた。



台湾でできた友達が桜修館に来て、久しぶりに会って話をするのが楽しかった。何度も交流を重ねることで仲が深まった。

グローバルスタープログラム

6～7名のグループに1人ずつ外国人留学生在がグループリーダーとして配置され、様々なアクティビティやディスカッションを行います。英会話能力やグローバルマインドを養います。



海外の人と話す機会は貴重で、今回たくさん話すことで慣れることができた。良い経験になった。

次世代リーダー育成道場

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援する東京都教育委員会によるプログラムです。約半年の事前研修を経て、約11カ月の海外研修に参加します。



約1年間の留学は大変なことも多かったが、「自分を変えたい」という思いで乗り越えることができた。

オーストラリア 海外語学研修

夏季休業中にオーストラリア・クイーンズランド州でホームステイをしながら現地の高校に通学し、英語のレッスンを受講したり、現地の生徒達と一緒に授業を受けたりします。英語でのコミュニケーション能力の育成や異文化理解など、今後のグローバル社会で必要となる力を身に付けることを目指します。



現地校では各生徒に1人以上のバディがつき、交流ができた。またホストファミリーとビーチへ行ったり、ショッピングに行ったりとオーストラリアでしかできない思い出をつくることができ充実した12日間となった。



海外大学リーダー育成 アメリカ研修

アメリカの西海岸に所在する世界トップレベルの大学を訪問し、キャンパス見学や、教授、大学生と交流することで、国際的視野で物事を考えることができる、グローバルマインドを備えたリーダーとしての資質を育成します。また、海外で活躍している日本人や、アメリカの同世代の高校生との交流、現地企業への訪問を通して、グローバル社会における世界の見方、これからの国際社会、国際交流の在り方を学びます。



UC Berkeleyで現地の大学生とグループディスカッションを行った。SDGs等について英語で意見交換をし、その解決策を考えた。皆だんだんと積極的に意見を発信するようになり、ディスカッションの内容もより充実したものになった。

学校交流

異文化理解を目的として様々な国や地域の生徒を受け入れ交流をしています。令和5年度は、トルコ、モンゴル（オンライン）、ブータンなど7カ国・地域の生徒と計10回交流を行いました。



トルコ



英語を母国語としない人々との交流のなかで、相手に伝わるような表現を工夫して考えることの大切さを学んだ。



モンゴル



お互い英語は完璧ではないものの、聞こうとする意志、伝えようとする意志が繋がりが合い、よい交流になった。



ブータン



異なった価値観、文化、習慣等をもつ人々との交流は、自分の知らない世界に対する理解を深めていくための、良い刺激となった。

強い意志

自由と自治

本校の学校行事は、生徒が自ら考え企画から運営まで行っています。仲間と協働することを通じて、社会性、リーダーシップ、協調性を育みます。

4月

- 入学式
- 1学期始業式
- 1年生移動教室

5月

- クラスマッチ(体育祭)
- 生徒大会
- 3年生フィールドワーク

6月

- 1学期中間考査
- 授業公開週間
- 4年生ようこそ小学生

7月

- 1年生フィールドワーク

8月

- 夏期講習
- 部活動合宿
- オーストラリア海外語学研修

9月

- 記念祭(文化祭)
- 1学期期末考査

10月

- 1学期終業式
- 2学期始業式
- 2年生職場体験

11月

- 授業公開週間
- 生徒大会
- 3年生国内修学旅行
- 3・4年生学フォーラム
- 5年生台湾修学旅行
- 4年生ようこそ小学生

12月

- 2学期中間考査
- 1年生美術館・博物館めぐり
- 4年生地域防災訓練
- 2年生フィールドワーク

1月

- 2年生ブリティッシュヒルズ・スキー教室

2月

- 合唱コンクール
- マラソン大会
- 生徒大会

3月

- 学年末考査
- サイエンスフォーラム・グローバルシンポジウム
- 卒業式 ●修了式
- 海外大学リーダー育成アメリカ研修
- グローバルスタータープログラム

※令和6年度の行事予定です。年度により多少変更があります。



17 期自治会会長

自治会役員会とは、他の学校でいう生徒会のようなものです。この名前は、桜修館がモットーとして掲げる「自由と自治」に由来しています。役員は2月に選挙で選ばれます。主な仕事は、三大事以外の行事(新入生歓迎会や部活動紹介など)の企画と運営です。他にも、桜修館の予算・決算の案も自治会役員会が作成しています。これは他の学校ではめったにないことで、桜修館が生徒主体の学校であることを色濃く表していると思います。責任がありますが、その分とてもやりがいがあります。桜修館をもっと楽しく充実した場所にするために、一生懸命活動しています。



R6 年度 クラスマッチ幹部長

クラスマッチとは、桜修館独自の体育祭のことです。その名の通り、6学年がA・B・C・Dのクラスごと青・黄・緑・赤の色別に分かれ、3日間に渡り様々な競技を行って勝利を目指します。1,2日目は球技を、3日目は校庭に全学年が集まって団体競技を行います。学年の垣根を越えて応援しあい勝利を目指すので、横のつながりも縦のつながりも重要な行事です。そのようなクラスマッチを企画・運営するのが私たちクラスマッチ幹部です。学校行事を作り上げるという貴重な経験を通して、大切な仲間と出会い達成感や充実感を得ることができます。



R6 年度 記念祭幹部長

記念祭とは、他の学校で言うところの文化祭にあたるものです。記念祭ではテーマが設けられ、そのテーマに沿ったイベントや食物模擬、劇などをクラスごとに行い、校内には装飾が施されます。他校の「文化祭」と比べて大きく違う点としては、生徒が主体となって企画を進めていく点にあります。クラスマッチ・合唱コンクールと同様に、幹部が運営を行い、そしてクラスの企画も各クラスメイトが一から考えます。毎年個性溢れる企画を体験することができ、とても充実した行事となります。きっと、記念祭は皆さんの思い出に残るでしょう。そんな記念祭に幹部長として携われることを非常に喜ばしく思います。



R6 年度 合唱コンクール幹部長

合唱コンクールは3大事の最後の行事として年度末に行われます。各クラスの1年の集大成を合唱で表現し、その声を大きなホールに響かせます。そんな合唱コンクールを運営しているのが私たち合唱コンクール幹部です。幹部内はもちろん、先生方や生徒のみなさんとの情報共有、資料の作成など7つの班に分かれて活動しています。賞を目指して一致団結する日々や当日ホールに響く各クラスの声は桜修館の生活においてかけがえのない思い出になります。

理数教育

授業で知的好奇心を刺激し、理数分野に関心を持つ生徒の裾野を広げ、生徒の学習や研究の支援を積極的に行っています。

授業

基礎能力を身に着け、思考する力を育てます



中等教育学校という利点を生かし、前期課程から物理、化学、生物、地学の4分野に分かれ、それぞれの学問領域を体系的に学習します。自然現象についてより深く考えるために、1年生の授業から実験・観察の機会を多く設け、考察する活動を主軸に授業展開しています。さらには、授業から発展して各種科学コンテストなどで活躍する生徒もいます。それらの活動のサポートも多角的に行っています。コンテストでの経験を生かして、より高いレベルでの学習および研究を求めて進学先を考える生徒も多くいます。あらゆることに興味関心を持ち、考えぬいて解決する学びの過程を楽しんでいると感じられる人、桜修館の門を叩いてほしいと願います。

探究

授業で知的好奇心を刺激し、理数分野に関心を持つ生徒の裾野を広げます。

卒業生による探究活動や学習に対する支援

科学オリンピック等で受賞した卒業生が、探究アドバイザーとして本校に來校し後輩たちに助言・指導しています。理科実験の支援員、学習チューターも含めると15名ほどの卒業生が探究活動や学習に対する支援をしています。

桜修館サイエンスフォーラム

科学オリンピック等の出場生徒が在校生向けに講演をし、在校生の科学オリンピック参加や研究のきっかけとなっています。

第20回物理チャレンジ2024 女子最優秀賞受賞生徒の声

サイエンスフォーラムで先輩方の講演を聞いたことがきっかけで、科学オリンピックに興味を持ちました。科学オリンピックは意外とだれでも挑戦できるものだから科学が好きならやってみた方がいいという話を聞いて、好きな物理を自分で深く勉強するよいきっかけになると思い挑戦することにしました。私は元からすごく科学が得意というわけではないのですが、4年生の時の物理の授業が面白く物理が好きになりました。物理は自力での勉強も楽しんで頑張れるなと思ったので、今回一歩踏み出す勇気が出ました。物理チャレンジは第一チャレンジと第二チャレンジがあり、第一チャレンジを通過できると合宿制の第二チャレンジに参加することができます。第一チャレンジは実験レポートの提出と理論問題のテストがあります。実験レポートでは、先生方と先輩方に遅い時間帯で実験に付き合ってもらっていたり、何度も相談に乗っていただいたりして、手探りで進めながらもなんとか形にすることができました。理論問題のテストに向けては、高校物理の範囲を先取りして勉強し、毎週先輩の講義を受け、過去問を解いては先輩が送ってくれる解説を読む、ということをしていました。初め



桜修館サイエンスフォーラムの様子

での出場でしたが、先輩方に熱心にサポートしていただいたお陰で、第一チャレンジで女子最優秀賞（東京理科大学賞）を頂くことができ、とても嬉しいです。第二チャレンジに向けて、より物理を深めていこうと思っています。

研究活動支援 卒業生の声



・第19回全国物理コンテスト物理チャレンジ 優良賞・女子最優秀賞受賞
・東京大学工学部に合格



・化学グランプリ2023 銀賞受賞
・慶應大学医学部に在学。千葉大学医学部にも合格。

私が物理チャレンジに参加したは孤軍奮闘の状態でしたが、地理オリンピック日本代表や化学グランプリ、生物学オリンピックで全国入賞する同期に恵まれ、互いに刺激を与え合い、受賞することができました。私たちがサイエンスフォーラムで科学オリンピックの面白さについてお話しした結果、多くの後輩が積極的に参加してくるようになりとても嬉しい限りです。新しいことに挑戦しようとする人たちを卒業生は全力でサポートします！



令和5年度卒業生による在校生の研究活動支援の様子

卒業生インタビュー

令和4年度卒業 学校推薦型選抜にて東京大学工学部に合格
第46回全国高等学校総合文化祭東京大会奨励賞（ポスター発表部門全国4～8位）受賞

令和5年度卒業 学校推薦型選抜にて東京大学工学部に合格
第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会最優秀賞（口頭発表化学部門1位）受賞
化学グランプリ2023 金賞受賞

——兩名とも桜修館では科学部に所属し、東京大学工学部に学校推薦型選抜にて合格・進学しています。科学部では東京大学生産技術研究所の研究協力を受けながら研究活動を行い、令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会最優秀賞（1位）をはじめ多くの賞を受賞しました。まずは科学部での研究内容を教えてください。

卒業生T：科学部では温度応答性高分子材料や光触媒の応用というテーマで研究を行いました。SDGsの11番に「住みやすいまちづくりを」と掲げられていることに関連し、温暖化が進みますます過酷になっている都市の気候を化学的な材料の力で和らげることを目標として、物質の評価を中心とした実験を進めました。具体的なアイデアとしては、気温が高くなった時にだけ水分を放出するような材料を地面のコンクリートに混ぜこむことで、夏の「打ち水」と同じ効果を再現するという方法を出発点として、最終的にはいろいろな機能を持ったセメントの開発という実用面に近い内容に取り組んでいました。

——SDGsといえば、Hさんは自治会として全校にSDGsについて発信していましたね。

卒業生H：私は3年生の頃から「中庭プロジェクト」といって、桜修館の中庭を整備する活動を行っていました。桜修館は緑豊かで、教室の窓から見える桜や梅もとても素敵なのですが、私が中学3年生の時までは中庭の整備が全くされていませんでした。友達と何気なく「休み時間に中庭でお弁当を食べたいね」と話していたことから自分たちで整備しようと思いつき、有志を募って中庭の植物の剪定、清掃などを行ってきました。同時に自治会役員として、全校生徒を対象にSDGsに興味を持ってもらえるような呼びかけも行いました。小さな思いつ



きからはじめたプロジェクトでしたが、美術で中庭パブリックアートを行う等、学校中の様々な活動に繋がりました。桜修館での活動から、自然と人工物が融合した新しい建物作りについて研究したいと考え、建築学科に進む予定です。

—Hさんから進路の話がありましたが、Tさんはいかがでしょうか。

桜修館では科学部での活動のほかに化学グランプリに出場するなど、

化学寄りの興味が強かったのですが、科学部で高分子材料を日々扱う中で物質の多様な性質がどのような根本原理に基づいているのかに興味が移っていました。最終的には量子論に基づいて物質を研究する物性物理学を勉強したいという思いが強くなり工学部物理工学科を志望するに至りました。

——Tさんは6年次に化学グランプリで全国上位20位以内となる金賞を受賞されていますね。

T：化学グランプリの問題は高校での学習内容をベースに、他分野と融合した問題が多く、大学受験の難問とは違った楽しさがあるのが魅力です。同級生には国際地理オリンピックの日本代表や物理・生物のオリンピックで全国に行くようなレベルの高い友人が多く、お互いに刺激を受けながら学習を進めました。化学グランプリの本選では実験試験のほかに参加者の交流の場もあり、全国からの様々な興味関心を持った同世代と議論ができたことはとても充実した経験でした。



——Tさんをはじめとした先輩たちの科学オリンピック等の受賞に刺激を受けて、後輩から科学オリンピックへの参加者が増えています。

6人のチームで科学分野の筆記競技と実技競技で競い合う科学の甲子園では、令和5年度総合成績において筑波大学附属駒場高等学校、麻布高等学校に次ぐ第3位、実技競技部門では第2位となるなど、過去最高成績を残しました。現在Hさんは探究アドバイザーとして、Tさんは理科実験の支援員として来校し、後輩たちの研究をサポートしています。

H：私より上の先輩たちの代から、自分たちが挑戦して、そのあとは後輩の挑戦を応援するという伝統が受け継がれているので、それが今このような形で結果が出ていると聞いてとても嬉しく思います。私も在学中は先輩にアドバイスをもらいながら科学の甲子園に出場し、卒業後はアドバイザーとなりました。実技などの練習をみて、自分の経験から助言はしましたが、最後は出場する皆さんの発想力で考えた方法でしっかりと結果をつかみ取っていて素晴らしいと思います。引き続き挑戦する人たちの手助けをしたいです。

各種科学コンテスト 受賞歴

令和6年度

・第20回全国物理コンテスト物理チャレンジ2024 女子最優秀賞（東京理科大学賞）

令和5年度

・第19回国際地理オリンピック・バンドン（インドネシア）大会 日本代表として出場 銅メダル
・化学グランプリ2023 金賞（全国上位20位以内）銀賞（全国上位40位以内）
・第19回全国物理コンテスト物理チャレンジ2023 女子最優秀賞（東京理科大学賞） 優良賞

・日本生物学オリンピック2023 敢闘賞
・科学の甲子園東京都大会 総合成績3位 実技競技2位
令和4年度

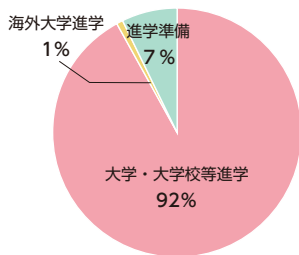
・化学グランプリ2022 銅賞
・数学オリンピック 優秀賞
・科学地理オリンピック 金メダル
・科学の甲子園ジュニア東京都大会 優秀賞（実技I部門）
・科学の甲子園東京都大会 総合成績5位

進路決定

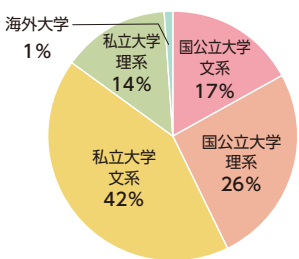


生徒自身の関心を軸に目標を設定し、進路決定に向かう中で高い志望をもち、困難なことに挑戦する態度を育てています。また、学校内外での生徒の主体的な活動を奨励することで、切磋琢磨しながらお互いを高め合う集団を作り、個人の力を高める支援を行っています。

令和6年3月卒業生(13期生) 進路内訳



令和6年3月卒業生(13期生) 大学進学者内訳



6年間の進路指導 ～学びの体系～

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
目標	自己を見つめる 目標を設定する	働くを知る 将来の夢を考える	自己の適性を知る 学問を考える	キャリアデザインを 考える	目標達成の力を 身に付ける	目標達成に向かい 進み続ける
キャリア行事	自己分析 職業調べ 職場見学	職業人講話 マナー講座 職業体験学習	上級学校調査 職業人講話 適性診断	オープンキャンパス 大学講話 職業人講話	オープンキャンパス 卒業生講話 難関大学説明会	難関大学説明会 特別時間割講習

過去3年間の主な大学合格者数推移

<卒業生数> 令和6年：149名 令和5年：156名 令和4年：147名

国公立大学	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
北海道大学			3	1	6	6
東北大学	4	4	2	1	2	2
山形大学	1	1				
筑波大学	1	1	1	1	2	1
埼玉大学					3	3
千葉大学	2	2	2	2	6	5
東京海洋大学			1	1		
お茶の水女子大学	1	1	2	2	1	1
電気通信大学	2	2	1	1	2	2
東京大学	5	5	1	1		
東京医科歯科大学	2	2	1	1		
東京外国語大学	3	3	2	2	3	2
東京学芸大学			4	4	2	2
東京藝術大学			2			
東京工業大学	5	3	3	2	8	7
東京農工大学	5	4	2	1		
一橋大学	11	10	6	6	4	4
横浜国立大学	11	10	17	17	9	9
新潟大学					1	1
富山大学	1	1			1	
金沢大学			1		2	1
山梨大学	1	1			1	1
信州大学	2	2	1	1	1	1
岐阜大学	1					

国公立大学	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
神戸大学					1	
京都大学	3	2	5	5	1	1
大阪大学	1	1				
奈良女子大学					1	1
鳥取大学	1	1	1	1		
愛媛大学	1					
高知大学	1	1				
琉球大学			2	2		
高崎経済大学			1	1	1	1
埼玉県立大学			1	1		
東京都立大学	4	4	3	3	3	3
神奈川県立保健福祉大学			1	1		
横浜市立大学	2	1	1	1		
名古屋市立大学					1	
大阪公立大学	1	1				
国公立大学 合計	72	63	67	59	62	54

大学校等	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
国立看護大学校			1	1		
防衛医科大学校	1	1	1	1		

医学部医学科※防衛医科大学校は国公立大に含む	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
国公立大学	11	8	3	3	3	2
私立大学	16	10	13	3	9	7

私立大学	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
青山学院大学	35	31	27	27	27	24
学習院大学	4	3	6	6	4	1
北里大学	5	4	6	5	5	5
慶應義塾大学	46	42	38	37	23	21
国際基督教大学	5	4			1	1
上智大学	51	51	22	20	14	12
中央大学	18	18	32	31	18	16
津田塾大学	2	2	1	1	3	3
東京女子大学	7	4	3	3	2	2
東京慈恵医科大学	1	1			1	1
東京理科大学	32	28	42	40	39	31
同志社大学	2	2	1	1	3	3
日本医科大学	1	1	2	1	1	1
日本女子大学	4	3	7	7	5	5
法政大学	33	30	55	55	26	21
明治大学	79	77	73	69	61	53
立教大学	41	38	45	40	19	16
早稲田大学	75	71	63	62	40	38
私立大学 合計	645	571	634	599	488	415

過去3年間海外大学進学先	令和6年 合計	令和6年 現役	令和5年 合計	令和5年 現役	令和4年 合計	令和4年 現役
The University of British Columbia BA					カナダ	
Grigore T. Popa University of Medicine and Pharmacy					ルーマニア	
Juniata College					アメリカ	

卒業生より

東京大学 理科二類 合格

桜修館生の多くは課外活動に打ち込みつつも忙しいことを言い訳にせず勉強も頑張ります。私は5年生までバレーなどの習い事を続け、得意科目の英語は英検1級を取得しました。そして記念祭の6年クラス劇では主役を演じました。勉強が忙しい中でも妥協のない劇をクラス全員で創りあげた最高の経験でした。また前期から進路を考える機会に恵まれ、私は3年時から農学に興味を持ちました。国際ボランティアや海外大学主催のプログラムに参加し大学よりも遠い将来まで考えることができました。だからこそ受験勉強を頑張る理由を見失うことはなく、添削や補講でたくさんの先生方にお世話になり、受験前日まで進路室で仲間と勉強をして、志望する道への第一歩を踏み出すことができました。桜修館での6年間は信頼できる先生方や友達に出会えたとても楽しい時間でした。



東京大学 文科三類 合格

桜修館では、勉強だけでなく様々な面で充実した学校生活を送ることができたと思っています。特に行事の際には、生徒が一丸となってよりよいものを作りあげようとし、行事運営に携わる幹部として最後まで行事をやり遂げられた時にはこれ以上ない喜び、楽しさ、達成感がありました。部活動等も充実していて、私は高校3年生の記念祭の時期まで軽音楽部としてライブをしていましたが、そこから学年全体として雰囲気を取りかえ、受験に集中することが出来ました。6年間であまり多くない人数で過ごすので、学年、先生との間にも一体感が生まれ、皆で様々なことを乗り越えられるのがこの学校の素晴らしい所だと思います。行事や部活でも先輩、後輩との関係も深められ、受験の際に先輩の話を参考にさせて頂いたり、後輩に励ましてもらう、といったこともありました。とても温かい学校で6年を過ごせたことを光栄に思います。桜修館で充実した学校生活を送れるよう応援しています。

山梨大学 医学部医学科 合格

桜修館は、誰でも自分がやりたいことに挑戦することができる学校です。私は高校3年生の5月までクラスマッチ幹部の活動続け、最後の1年には幹部長を務めました。コロナ禍明け初のクラスマッチで、企画や準備の際には大変なことが多かったですが、同期や先輩、後輩、先生方に支えていただき前向きに取り組むことができました。自らの手で学校行事を作り上げるという貴重な経験を通して、大切な仲間と出会い達成感や充実感を得ることができました。また、国公立医学部受験の対策でも桜修館の先生方に大変お世話になりました。医学部の独自問題の傾向や対策についても教わり、沢山サポートしていただいたおかげで合格することができました。さらに、桜修館では、大学受験の対策に限らず、大学入学後にどのような進路を実現したいのかを考える機会が多く、私は医師になりたいという明確な目標を持つことができました。



一橋大学 商学部 合格

私は桜修館で最高の友人たちと出会い、充実した時間を過ごすことができました。これは6年間で160人という少人数で過ごし、やりたい事に打ち込める環境と仲間がいたからに他なりません。私はクラスマッチ幹部として高3の5月まで、所属していた水泳部では高3夏の引退まで活動をしました。部活や行事などを最後までやり遂げたことは忘れられない思い出であり、これからの人生でも糧となる経験でした。学業面では先生方が授業に留まらない”学び“を指導してくださり、様々な物事に興味を持って学習をすることができました。また、受験勉強では友人たちと仲間として、良きライバルとして互いに切磋琢磨しあうことで志望校の合格も叶いました。桜修館は勉強・部活・行事など多様なことに全力で取り組める学校です。きっと皆さんの思い描く生活が送れると思います。

写真は令和6年度に本校から一橋大学に進学した13期生10名です

部活動が活発に行われており、運動系・文化系ともに多くの部が実績を残しています。

運動系

- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 女子バレーボール
- サッカー
- 男子硬式テニス
- 女子硬式テニス
- バドミントン
- 陸上競技
- 水泳
- 剣道
- 野球
(前期課程：軟式)
(後期課程：硬式)
- 弓道

文化系

- 吹奏楽
- フィールドワーク
- 日本文化
(かるた班・茶道班)
- 創作
- 写真
- 美術
- 科学
- 軽音楽
(後期課程から)



令和5年度部活動 実績

- **弓道部 (後期)**
 - ・関東高等学校弓道大会東京都予選会 女子団体 3位
 - ・関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 女子個人 8位
 - ・東京都秋季大会 女子団体 準優勝 女子個人 8位
 - ・東京都新人大会 女子団体 優勝
 - ・東京都遠の大会 女子団体 優勝 女子個人 優勝
- **科学部**
 - ・第47回全国高等学校総合文化祭 (2023かごしま総文) 自然科学部門 化学部門 最優秀賞
- **陸上競技部 (前期)**
 - ・東京都陸上競技協会特別優秀選手賞
 - ・第1回南関東中学校陸上競技大会 男子中学共通800m 1位
- **吹奏楽部**
 - ・第63回東京都高等学校吹奏楽コンクールB組 金賞
- **かるた部**
 - ・第25回全国中学生選手権大会 中学2年生・一般の部 優勝
- **剣道部**
 - ・全国高等学校剣道大会東京都個人予選 出場

その他実績

- ・国語 「中学生の主張」 東京都大会 東京都教育委員会賞 (2位)、優良賞、奨励賞
第10回全国高等学校ビブリオバトル決勝大会 優秀賞
「折々の言葉」 鷲田清一賞
「明日のTOKYO作文コンクール」 入選・佳作
- ・数学 第32回日本数学オリンピック 本選出場
第25回算額をつくろうコンクール 銀賞・銅賞
第27回算額をつくろうコンクール 奨励賞
第69回東京都統計グラフコンクール (第4部、パソコン統計グラフの部) 佳作
- ・社会 第19回国際地理オリンピック・バンドン(インドネシア)大会 銅メダル
- ・英語 第62回全国高等学校生徒英作文コンテスト 入選



桜修館の1日

7:30 - 8:15 登校



8:15 - 8:20 朝学習・朝読書

落ち着いて1日を始めます。

8:20 - 朝学活

8:35 - 12:25 1～4 時間目授業



50分授業です。

12:25 - 13:00 給食



前期生は給食があります。校内で作っている温かく美味しい給食です。

13:00 - 13:20 昼休み

委員会を行うこともあります。

13:25 - 15:15 5,6 時間目の授業



学年によって7時間目があります。

15:20 - 終学活

放課後



部活動や委員会があります。図書館が開いており、利用する生徒も多いです。最終下校は17:00です。部活動は18:00まで活動することもあります。



放課後に先生に質問にいく生徒の姿もよく見られます。

制服



性別に関係なく

制服（ジャケット、スラックス、スカート等）を自由によびます

- 濃紺をベースとしながら、生地の中に緑色の糸を縫い込んで、光の当たり方で微妙に色合いが変化するように作られています。
- プレザー、スラックスまたはスカート、ネクタイまたはリボンは全員着用です。
- 本校指定のセーター、ベスト(冬用・夏用)があります。夏のシャツは半袖でもかまいません。
- 後期課程ではネクタイとリボンのデザインが変わります。
- 靴と鞆の指定はありません。

施設

八雲の丘に立地し、美しい木々に囲まれた校舎で6年間を過ごします。桜修館での6年間を支える施設設備が充実しています。



プール



体育館



グラウンド



テニスコート



柔道場



弓道場



パソコン室



図書館

入試情報

このページの記載内容のうち「2. 募集人員」は令和6年度、それ以外は令和7年度の情報です。

1. 日程

事項	一般枠募集
出願	〔入力期間〕 令和6年12月19日(木)から令和7年1月16日(木)午後5時まで 〔書類提出期間〕 令和7年1月9日(木)から令和7年1月16日(木)まで ※入力期間とは、インターネット出願において、インターネット上の出願サイトに志願者情報等を入力することができる期間のことである。 ※書類提出期間とは、出願サイトへの入力に加え、出願に要する書類を本校へ提出する期間のことである。
検査	令和7年2月3日(月)
発表	令和7年2月9日(日)
入学手続	令和7年2月9日(日)午前9時から午後3時まで 令和7年2月10日(月)午前9時から正午まで

2. 募集人員 ※令和6年度の内容を掲載しています

事項	一般枠募集	合計
男子	80名	160名
女子	80名	

※ 特別枠募集は、実施しません。

3. 応募資格

- (1) 令和7年3月に学校教育法に定める小学校またはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者。
- (2) 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者または保護者とともに入学日までに都内へ転入することが確実な者。

4. 出願

本校を志願する者は、他の東京都立中等教育学校及び東京都立中学校(以下、「都立中学校」という。)並びに千代田区立九段中等教育学校への出願はできません。また、他の都立中学校の特別枠募集への出願もできません。

- (1) 出願方法 インターネットを活用した出願を行い、かつその他出願に要する書類については、特定記録郵便(上記書類提出期間に、本校が指定する郵便局に必着(郵便局留))により郵送したものを受け付ける。
- (2) 出願に要する書類等 ア 入学願書、 イ 報告書、 ウ 応募資格審査関係書類(該当する者のみ)、 エ 入学検査料 2,200円

5. 報告書の取扱い

報告書は、「各教科の学習の記録(5・6年)」について別表に基づいて点数化します。「総合的な学習の時間」等のその他の欄については点数化しません。

- (1) 報告書
 - ・ 報告書は、評定(3、2、1)について、別表により点数化します。
 - ・ 報告書の満点は、450点とします。
 - ※450点満点で報告書点を算出し、総合成績算出時に300点満点に換算します。

別表	各教科の学習の記録	教 科	評 定					
			5年			6年		
			3	2	1	3	2	1
		国 語	25	17	9	25	17	9
		社 会	25	17	9	25	17	9
		算 数	25	17	9	25	17	9
		理 科	25	17	9	25	17	9
		音 楽	25	17	9	25	17	9
		図画工作	25	17	9	25	17	9
		家 庭	25	17	9	25	17	9
		体 育	25	17	9	25	17	9
		外国語	25	17	9	25	17	9
	各学年の満点		225				225	
	報告書の満点		450					

6. 適性検査

- (1) 適性検査Ⅰ

文章の内容を的確に読み取ったり、自分の考えを論理的かつ適切に表現したりする力をみる。

① 独自問題
- (2) 適性検査Ⅱ

資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。

① 独自問題 ② 共同作成問題 ③ 共同作成問題

7. 合格者等の決定

- (1) 検査等の取扱い

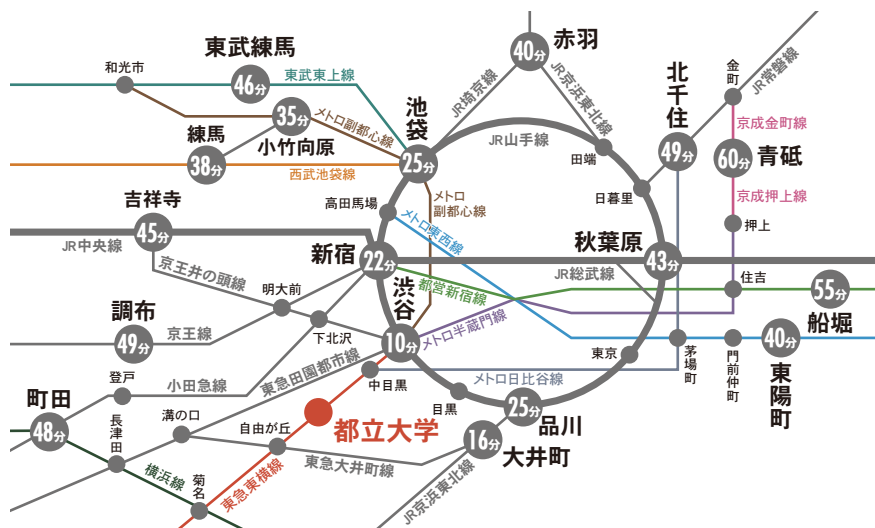
合格者等の決定には、報告書、適性検査の結果を総合した成績(以下「総合成績」という。)を用います。それぞれの満点は、次のとおりとします。
- (2) 合格者等の決定

ア 合格候補者を、募集人員まで総合成績の順に決定します。

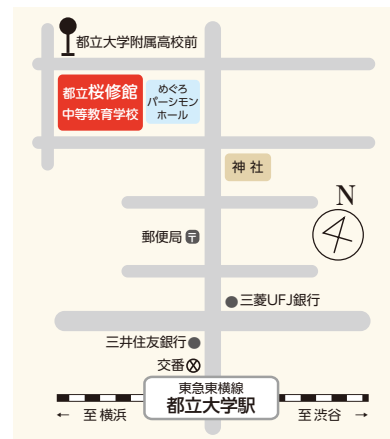
イ 募集人員に対して過不足のないように入学者を決定するため、合格候補者となっていない者のうちから、総合成績の順により、一定数の者を繰上げ合格候補として決定します。

ウ 上記アで定めた合格候補者を合格者、イの該当者を繰上げ合格候補者とします。

報告書の換算点	適性検査Ⅰの換算点	適性検査Ⅱの換算点	総合成績(換算点合計)
300	200	500	1,000



最寄駅	東武東横線「都立大学」		秋葉原から43分	吉祥寺から45分
	渋谷から10分		練馬から38分	赤羽から40分
			町田から48分	北千住から49分



交通機関

- 東武東横線
渋谷駅より各駅停車 10分
「都立大学駅」下車 徒歩10分
- 東武バス
JR目黒駅より
(黒07) 弦巻営業所行き 約30分
「都立大学附属高校前」下車



Tokyo Metropolitan Oshukan Secondary School

〒152-0023 東京都目黒区八雲1-1-2

TEL. (03)3723-9966

<https://www.metro.ed.jp/oshukan-s/>



桜修館公式マスコットキャラクター
おうじろー
© 桜修館 & Ayu